

さぬき市立就学前施設の在り方検討委員会 会議結果

- 1 会議日時 令和8年 1月 13日 (火) 19:00 ~ 20:00
- 2 会議場所 さぬき市役所寒川庁舎 1階 多目的ホール
- 3 出席者 [委員] 松原委員 杉浦委員 三谷委員 木曾委員 大山委員
黒川委員 亀井委員 多田(和)委員 頼富委員
多田(敬)委員 (欠席2名)
- [事務局] 健康福祉部 中川部長 教育委員会 佐藤部長
幼保こども園課 真部課長 学校教育課 樫村課長
幼保こども園課 西川
- [傍聴人] 2人
- 4 議題 1 志度幼稚園のこども園化について
2 就学前施設の今後の在り方について意見集約した内容
- 5 資料 ・志度幼稚園をこども園に移行するメリット
・就学前施設の今後の在り方について意見集約した内容
・志度地区就学前施設の入所人数

6 会議要旨

発言者	意見概要等
事務局	<p>【議案1 志度幼稚園のこども園化について】</p> <p>委員の皆様には案内時に送付させていただきました「志度幼稚園をこども園に移行する必要性の検討」についてご回答いただきありがとうございました。</p> <p>前回の会議では志度幼稚園をこども園に移行するメリットと高額な建築費用や志度地区の施設数が過剰になり集団での活動を維持していくことが困難になっていくことなどのデメリットについて検討いただき、最終的な検討委員会の意見としては志度幼稚園をこども園に移行する意見のほうが多かったと思います。</p> <p>ただ、移行した場合のメリットの部分については具体的な内容を示せるまでには至らなかったと感じています。</p> <p>志度幼稚園のこども園化が実現されるにはこれから市に提出する意見書が単なる要望書とならないよう志度幼稚園をこども園に移行することが将来的には子育て世代や地域全体のメリットに繋がることをいかに説明できるかが重要だと考えております。</p> <p>はじめにこの部分についてご回答いただいたご意見をもとにこども園を整備する必要性やメリットについてまとめてみましたので説明いたします。</p> <p>志度幼稚園をこども園に移行するメリットとして</p> <p>津波に対する避難訓練を実施しているということは、その地域が安全ではないということ。</p> <p>志度保育所を閉園するだけでは市の役割を果たしたことにはならな</p>

い。志度地区の就学前施設に通う児童の安全面を第一に考えることが重要である。

志度幼稚園をこども園に移行することは津波の心配がなくなり、安全面でのメリットがある。

今後、各地域において少子化が進行し、集団での活動が維持できなくなり閉園する施設が増えていくことが予想されているなかで志度地区のこども園としてではなくさぬき市全体のこども園として整備することで今後、公立施設が閉園となった志度地区以外の地域の受け皿にもなる。

志度地区だけを対象として整備すると考えた場合、5年先、10年先には志度地区の就学前施設の数は過剰となるため、今後、入所人数が減少し閉園する施設がでてくる地域も含めて公立を希望する児童の新たな受け皿としての役割を担った市全体のこども園として整備するという考え方になります。

例えば、大川・寒川地区の子は津田こども園、長尾・造田地区の子は志度こども園が受け皿になれば、無理なく公立施設の数を縮小していけるとともに、公立施設を希望する保護者には大きなメリットになります。

公立施設の大半は老朽化による大規模な改修工事が必要となっているが地域によっては改修後に何年間も入所人数を維持することは困難だと思われることから老朽化している施設を改修して使うより市内にもう一か所こども園を整備するほうが集団での活動を維持できるし維持管理経費も削減できる。

また、幼稚園型のこども園とすれば給食も外部搬入が可能なため改修費用は低く抑えられる。

志度幼稚園のこども園化に要する費用だけで考えるのではなく施設全体の改修費や維持管理経費を含めた経費で考えた場合には長い目で見ると経費が削減できるのではないか。

市民が安心して教育・保育サービスを受けられるよう民間が撤退したときのことも想定して0～2歳が入所できる公立施設を残しておくことで待機児童の対策になる。

現実的に可能性は低いですが、たとえば民間のどこかが撤退した場合には残った他の民間施設に0～2歳枠の対応をお願いすることになりますが保育士の確保など体制を整えてもらうには時間が掛り待機児童を出してしまうデメリットがあります。

このような事態を想定した場合、0～2歳を受け入れできる公立施設を残すことには大きなメリットがあると考えられます。

志度エリアの0～2歳児にとって公立施設の受け皿がないのは保育の質と量の両面を保障できない。

	<p>民間施設に0～2歳児の受け入れ体制を確保してもらうには時間が掛り、それまでは志度保育所を存続させる必要があることから安全面での不安が大きい。</p> <p>こども園を整備することで保育の質と量を保障でき、安全面での不安も解消できる。</p> <p>子育て支援の重要施設であるこども園の整備をカットしてしまうと人口減少に影響し、魅力あるまちづくりに逆行してしまう。</p> <p>公立施設の大半は老朽化しており建物の整備は急務である。現状を放置した場合、子育てにはあまり力を入れていないまちとして認識され少子化を加速させてしまう恐れがあるのに対し、あらたに施設を整備することは子育てに力を入れているまちとしてのPRに繋がる。</p>
委員	幼稚園型のこども園とはどのようなものか。
事務局	3歳児以上の教育認定・保育認定を対象とするこども園 2歳児の受け入れも可能にできるが、そうになると自園調理が必要
委員	意見書の中にさぬき市全体の就学前施設をどうするのかを入れておく必要がないか。 一部分だけ提案しても全体でどうするのか、あり方についての内容を少し入れておかないといけないのでは。
事務局	これまでいただいた意見は、最終的にはさぬき市立就学前施設の在り方についての基本方針 第3回目の委員会で（案）を提示しましたが、そこに入れ込んでいくようになる。 意見書の段階では市全体の細かな整備計画までは入らない予定です。
事務局	<p>【議案2 市に提出する意見書について】</p> <p>これまで4回にわたり本委員会で検討してきた内容については、意見書として市に提出します。</p> <p>資料の2ページをご覧ください。 意見を集約した内容といたしましては、</p> <p>公立こども園については、当面の間、運営を継続してください。</p> <p>公立幼稚園については、当該年度当初における3歳児及び4歳児の合計人数が10人未満となった際には、翌年度以降、閉園に向けて検</p>

	<p>討を開始する必要があると考えます。</p> <p>公立保育所（志度保育所以外）については、当該年度当初における入所人数が20人未満となった際には、翌年度以降、閉園に向けて検討を開始する必要があると考えます。</p> <p>志度保育所については、南海トラフ地震発生に伴う津波浸水想定区域内にあることから閉園を含めた今後の方針について早期検討をお願いします。</p> <p>志度保育所閉園後は、待機児童を出さないよう、志度地区を中心とした受け入れ体制の確保に努めてください。</p> <p>志度幼稚園のこども園移行について早期検討をお願いします。</p> <p>の6項目になります。 以上です。</p>
委員	<p>公立幼稚園の定員というか閉園するかどうかの検討に入る人数とか保育所の閉園の検討に入る人数、このあたりが妥当なんですか。</p> <p>このあたりの人数を切ると本当に保育が困難になるのか、単に人数で切ってしまうのはいけないと思います。</p>
事務局	<p>第一回の委員会で5人を切ったら集団での活動は難しいなあという意見が出ています。3歳児クラスが5名、4歳児クラスが5名、両方合わせて10名ということでこれまで検討してもらったと思っておりますので、こういう表記にさせていただきます。</p>
委員	<p>5名という人数なんですけど、集団行動、生活をするにあたって個別には丁寧な対応ができるが、集団という数でみると現場の肌感でいうと3歳児と4歳児を合わせて10人未満になると活動が制限されることが多々ある。</p>
委員	<p>公立保育所20人未満については、</p>
事務局	<p>ひとクラス5人が集団での活動を維持していくうえでの最低ラインという意見が出たのに加えて、認可定員が20人を切ると小規模保育の部類に入ってくるので、20人としています。</p>
委員	<p>幼稚園のほうの3歳・4歳の合計が10人未満なんですけど、1クラス6人未満になると複式になると市のほうの内規にあるので、それもあって10人未満としたのではないかと。</p>

委員	保育所の20人は地域性がある、0～3歳までの園と0～5歳までの園がある。富田・寒川などは0～3歳で20人になる。
事務局	国が定めている小規模保育所の定員が20人以下、一般的な保育所の最低利用定員が20人以上になっていることから20人を基準としています。
委員	一般市民の方が何人未満になると閉園することを知ってしまうと、園によっては閉園するといったロコミが広がり、ますます入所者が減っていくのではないかと。 意見書の内容がバズってしまうと大変なことになるという気がします。
事務局	ゆくゆくの方針を決めるにあたってある程度の数字は必要だと考えている。
委員	「閉園に向けての検討を開始する必要があると考えます。」のあとに一言何か「地域の保護者にとってその地域で子育て保育ができる施設の確保についてはなお努めてまいります。」とかの一言があったほうがマイナスイメージが出ないのではないかと。
委員	志度地区を中心とした受け入れ体制とは、民間で受け皿を用意するのか、志度幼稚園のこども園化も含めた受け入れ体制の確保なのか。
事務局	民間にすべて任すのではなく、公立も含めての確保を考えています。
委員	津田こども園を当面の間の当面の間をどのようにとらえたらよいか。
事務局	こども園は、少子化によりこども減ってきてても運営を続けてもらうという意味合いになります。
	以上